



▲一斉にスタートする5kmの選手

倉岳えびす祭り・倉岳えびすマラソン大会 倉岳

“えびす顔”のランナーと観客

「第19回倉岳えびす祭り・2011倉岳えびすマラソン大会」が1月16日、倉岳えびす像公園一帯で開かれました。同マラソン大会には、3・5・10kmのコースに県内外から約750人が参加。小雪がちらつく中、参加者は思いおもいのペースでレースを楽しんでいました。

また、地元の漁船約30隻による勇壮な海上パレードで始まった同えびす祭りでは、特設ステージで芥明高校郷土芸能部によるハイヤ踊りなどが披露されたほか、綱引き大会や福引き付きもち投げも行われ、約3,000人の人出でにぎわいました。



▲今年の“運”だめしにともちを拾う観客

市体育指導委員研修会

有明

ニュースポーツを普及しよう！

2月13日、「天草市体育指導委員研修会」が下津浦体育館で開かれ、約100人が参加しました。これは、市体育指導委員協議会が、スポーツの振興と普及を目的に毎年開催しているもの。今回は、誰でも簡単に取り組めるニュースポーツの実技研修が行われ、氷上のスポーツであるカーリングからヒントを得た“カロリング”や、膨らませた傘袋を的に目掛けて投げる“傘袋ゲーム”など6種目を実施。参加者は、「心地よい汗を流すことができました」と笑顔で話していました。



▲膨らませた“傘袋”を投げる参加者

大宮地地域探検ハイキング

新和

楽しみながら地域のすばらしさを知る

2月11日、「大宮地地域探検ハイキング」が開かれ、地元子どもなど35人が参加しました。これは、大宮地地区振興会が、地域のすばらしさを再確認してもらおうと開催したもの。コースは、五輪の塔、平家城山、大宮地八幡宮を巡る約8km。参加者は、名所に関する説明を熱心に聞いたり、これらにちなんだクイズに挑戦したりしてハイキングを満喫しました。また、同山の山頂ではビンゴゲームも行われ、眼下に広がる絶景を眺めながら、楽しいひとときを過ごしていました。



▲ビンゴゲームのようす

国土交通省・手づくり郷土賞

五和

『ホタルの里できらめく城河原』が全国表彰！

1月5日、城河原地域づくり振興会が国土交通省の「手づくり郷土賞（一般部門）」を受賞しました。この賞は、河川などの社会資本をいかし優れた地域づくりを実践している団体に対して贈られるもの。同振興会が行っている“ホタルフェスタ”や、地元の小学生が天草空港を利用して、福岡市の小児病棟にホタルを届ける“ホタル交流便”などの取り組みが、高く評価されました。同21日には、地域交流センターおおくすで、関係者など30人が出席して認定証の伝達式を実施。国土交通省・九州地方整備局副局長から同振興会の野口米仁会長へ認定証が授与されたほか、意見交換会や現地視察も行われました。

野口会長は、「今後も住民が誇りと希望が持てる活力ある地域にしたい」と話していました。



▲受賞を記念して喜びの1枚



▲昨年5月に行われた「ホタル交流便」

天草東海岸の魅力づくり事業・ヤブツバキの植栽

栖本

“油すましの里”を目ざして

2月6日、中河内区の中ノ門地区で地元の壮青年部組織「創和会」の会員10人が参加して、ヤブツバキの植栽が行われました。これは、同地区にまつられている“油すましの墓”（通称：油すましどん）周辺を観光名所にしようと、平成20年から実施。この日は、市が行う“天草東海岸の魅力づくり事業”により提供を受けたヤブツバキ100本を、会員たちはていねいに植栽しました。同会の末松功会長は、「“油すましの里”としてPRし、地域の活性化につなげたい」と話していました。



▲植栽を行う会員の皆さん



▲牛深ハイヤ踊りを体験する児童たち

牛深ハイヤ踊りの体験講座

牛深

「牛深ハイヤ踊り」楽しく踊れたよ！

牛深ハイヤ保存会による牛深ハイヤ踊りの体験講座が2月1日、うしぶが海彩館のハイヤ道場で開かれ、本渡北小学校の3年生のうち、35人が参加しました。これは同校が、ふるさと体験事業として行ったもの。講座では、同保存会が舞台踊りを披露したあと、全員が輪になって道中踊りを実施。児童たちは、終始楽しそうに踊っていました。また、同保存会から「今年は牛深ハイヤ祭りが40周年。ぜひ踊りに参加してほしい」と呼びかけられ、児童たちは「家族にも教えて踊りに来たい」と答えていました。